

## バイディング・キャリブレーション方法（専用送信機用）

お手持ちのインバーター専用送信機を使用するためには下記のバイディングと送信機キャリブレーションが必要となります。（クイックスタートガイドの「バイディングとキャリブレーション」の項目にも記載されていますので参考にしてください）

また、PC ソフトウェアの「システム設定」－「キャリブレーション」の項目でバイディングとキャリブレーションを行うことも出来ます。

### 1) バイディング（送信機と機体を組み合わせるために「バイディング」という操作を行います。）

- (1) 送信機右下の「Binding SW」（赤いボタン）を押しながら送信機の「POWER」を ON にしてください。（モジュールのランプが緑色の点灯（早い点滅）となります。）
- (2) 機体の「スタートボタン」を押しながらバッテリーを装填してください。
- (3) 「ビッ」と鳴ったら指を離し、「ビッピー」と鳴ったらバイディング成功です。（失敗した場合は「ビー」の連続音になりますので再度(1)からやり直してください。）

### 2) 送信機キャリブレーション（送信機の個体差をなくするため、システムに最適な信号に変換します。）

- (1) 送信機のトリムレバーを全て中立位置にセットしてください。

参考①：スロットルトリムを中立より 1～2 コマ程度上でキャリブレーションするとトリムはほぼ中立でスタートできるようになります。

参考②：インバーターの特性上、ラダートリム調整は左に動かすことが多いため、ラダーのトリムを右に 1～3 コマ程度動かしてキャリブレーションを行い、スタート時はラダートリムを中立にするとトリム調整量が少なくなります。

- (2) バイディング成功の後、「ビッ ビッ・・・」と断続音が鳴り始めたら、スタートボタンを長く押ししてください。
- (3) 「ビッ ビッ」と鳴ったら指を離し、送信機のスティックを左右同時に上下左右いっぱいまで力をいれずに「ビッピー」と鳴るまで数度動かしてください。（スティックを回すように動かしてください。）
- (4) 「ビッピー」と鳴ったら送信機キャリブレーション成功です。（「ビッピー」と鳴らなかった場合、失敗ですので再度バイディングの(1)からやり直してください。）



### 3) サーボ・キャリブレーション（サーボの中立位置の個体差をなくするためサーボが自ら自動で中立位置を求めて動作します。）

- (1) 「送信機キャリブレーション」成功後「ビッ ビッ・・・」と断続音が鳴ったら、スタートボタンを長く押ししてください。
- (2) 「ビッビッビッ」と鳴ったら指を離します。自動的にサーボが動き始めます。（ローターや他の障害物でサーボに負荷をかけないで下さい。）
- (3) 全サーボの動作が終わると「ビッピー」音でサーボ・キャリブレーション終了です。バッテリーを取り外してください。

リンケージや他の負荷で正しくサーボニュートラルが見つけれないことがあります。キャリブレーション終了後、明らかに中立位置がずれている場合はバイディングの(1)からやり直してください。

送信機キャリブレーション終了後、バッテリーを取り外すとサーボ・キャリブレーションを省略することができます。